

◎単元構想シート

【学 年】小学校第6学年

【単元名】明治の国づくりを進めた人々（11時間）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕
・日本は黒船の来航から開国、明治維新を経て、欧米の文化や技術、政治の仕組みを取り入れながら近代化を進めたことがわかる。	・日本は幕末から明治初期にかけて、外国との国力、産業など大きな差があったことに着目し、調べた資料からどのような国づくりを進めたのか表現することができる。

【主な学習活動と留意点】

前單元からのつながり：歌舞伎や浮世絵、蘭学、国学などの文化、学問が発展した。また農民の一揆や外国船の来航など世の中が不安定になり、幕府への信頼が揺らいだことを学んだ。

働かせる見方・考え方：新しい政府が欧米諸国のような強さ、豊かさを目指して様々な政策を断行していったことを、経済や政治の在り方、人々の生活に着目しながら考える。

段階	□学習問題	留意点
課題把握	<p>1 (江戸と明治の絵の違いから) 2枚の絵の間に何が起こったのだろうか。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2枚の絵から、開国と幕府滅亡を予想し、調べ学習を行う。</li> <li>・日米和親条約、日米修好通商条約では、外圧による不平等条約を回避しようとした幕府と、抗えずに条約が締結されたことを確認する。</li> <li>・大政奉還後、武士や幕府による政治を根本から変えるために王政復古や討幕が行われたことを確認する。</li> </ul>
<p>単元の学習問題：大久保利通はどのような国づくりを目指したのだろうか。</p>		
課題追究	<p>2 大久保たちはアメリカやヨーロッパを視察してどのようなことを学んだのだろうか。(1)</p> <p>3 西欧の国々で学んだ大久保たちはどのような政策を行ったのだろうか。(2)</p> <p>3 不満を持つ士族に対して、どんなことをしたのだろうか。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉使節団の行程やイギリス、ドイツ、アメリカを中心に見聞した内容、外国との関係（外債含む）の資料から西欧諸国に追いつくため近代国家を目指したことを確認する。</li> <li>・廃藩置県、徴兵令、地租改正、学制などの諸政策によって富国強兵、殖産興業を進めたことを、資料を調べてまとめる。</li> <li>・大久保が中心となって断行した廃藩置県や廃刀令、秩禄処分によって収入や特権を奪われた士族が、生活難になったり反乱を起こして鎮圧されたりしたことをまとめる。</li> </ul>

	<p>4 大久保は安積疎水の開発によって士族を助けようとしたのだろうか。(2) (本時)</p>	<p>・前時までにまとめた政策や士族の生活、大久保の言動をもとに、安積疎水開発に対する大久保の意図について自分の考えをもつ。</p>
<p>課題解決</p>	<p>4 大久保利通がどのような国づくりを目指したのかまとめよう。(1)</p> <div data-bbox="217 640 769 848" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ねらいを達成した子どもの姿】 大久保利通は、不満を持つ士族に対応しながら、西洋の国々に追いつくために産業を興すなどの政策を次々と進めていった。</p> </div> <p>5 自由民権運動と大日本帝国憲法 (2)</p>	<p>・前時までに学習した岩倉使節団や殖産興業、廃藩置県、士族授産などの内容をもとに、大久保がどのような国を目指したのかまとめる。</p>
<p>次單元へのつながり：明治の諸政策が行われ、日清・日露戦争を経て経済的に発展し国際的地位を上げた日本は、懸案であった条約改正を達成した。</p>		